



ライオンズ眼鏡リサイクルセンター (LERC)

ガイドライン

ライオンズ眼鏡リサイクルセンター (LERC) ガイドライン

はじめに

ライオンズは、公認ライオンズ眼鏡リサイクルセンター (LERC) の運営に関するガイドラインと、ライオンズの名称と紋章を使用する上でのライオンズクラブ国際協会の商標および設立に関する一般方針を遵守するよう、強く奨励される。

本ガイドラインを遵守することにより、LERCは以下を確保できる。

- 最大限に効率的かつ専門的で一貫性のある運営
- 最善の方法による運営の実現と維持
- ライオンズ眼鏡リサイクルプログラムの発展と拡大の促進
- ライオンズクラブ国際協会 (LCI) の誠実性の維持

施設設立

1. スポンサーの複合地区または地区は、LERCの全活動を行う上で十分な大きさの施設を、購入、寄付、または賃借によって取得する。施設を賃借する場合には、LERCは最低5年間の不動産賃貸契約を結ぶ。
2. LERCの建物に関する規格は次の通りである。
 - a. センターの予測されるニーズを満たす上で十分な広さがある。
 - 保管エリアには、眼鏡を安全に保管できる十分な広さがある。
 - 作業エリアには、器具用の台やボランティアの作業用のスペースを確保できる十分な広さがある。
 - 管理業務エリアには、不可欠な事務機器や人員を配置できる十分な広さがある。
 - b. 建物には、洗面所、眼鏡洗浄用の水道、眼鏡と機器を保護するための空調設備などが備わっている。
 - c. 建物は、現地の消防および安全基準に従っている。
3. LERCが施設の候補を評価する際には、将来的な発展・拡大を考慮に入れておくことが推奨される。

業務に必要な機器/設備/用品

業務に必要な機器・用品として、各LERCには以下を備えておくことが推奨される。

1. 管理業務：コンピューター（在庫記録の保持、Eメールでの通信、LERCウェブサイトの管理用）、電話、ファックス装置、文房具、事務用品。
2. 眼鏡処理：眼鏡分類用の椅子とテーブル、眼鏡洗浄用の流し台と水道、食洗機または超音波洗浄機、各レンズの処方度数を測るレンズ測定計、洗浄・度数測定後の表示に使うラベル、個々の眼鏡を入れるビニール袋、保管用の箱。
3. 処理済みの眼鏡の配布：処理済みの眼鏡の保管に適した棚、梱包資材、国内外への発送方法の説明書、関税申告用紙および送り状用紙。

LERCの運営

1. スタッフが日常業務を遂行し、効率・良質な眼鏡・最善の運営方法を確保するために役立てられるよう、LERCは基本運営手順書を作成する。
2. 眼鏡の配布に当たっては、地域または国の衛生規制を厳守する。
3. ライオンズとレオの事業への眼鏡供給を優先する。
4. 他の人道組織に対して眼鏡を供給する場合には、眼鏡が無料で受益者に配布されること、およびその組織が眼鏡配布事業終了後1か月以内に、(a) 事業期間中に奉仕を受けた人々の数、(b) 眼鏡を受け取った人々の数について、眼鏡を供給したセンターに報告することを条件とする。

運営レベル

各LERCに対しては、それぞれが提供する具体的な業務に基づき「収集センター」、「収集・処理センター」、「収集・処理・配送センター」といった名称を付けることができる。

視力検査を提供し、ライオンズ/レオや他のLERCボランティアのトレーニングを行うLERCは、現地の眼科専門家や協力関係にある他のパートナーと連携し、現地の法律と専門的基準に適合する十分な業務とトレーニング課程を確立することとする。

1. 収集センターは以下の業務を提供する：

- 中古眼鏡（老眼鏡、サングラス、単焦点および遠近両用レンズを含む）を受領する。
- 受領した眼鏡を大まかに分類し、良好な状態の眼鏡を破損したもの、多焦点レンズのもの、視線上に傷のあるものなどと分ける。
- 汚れがあるなど、使用できない眼鏡ケースは廃棄する。
- 単焦点眼鏡と遠近両用眼鏡を分ける。

- 標準的な金属またはプラスチックのフレームの眼鏡が修理できないほど破損している場合には、貴金属の再利用・スクラップ処理に役立てる。
- 眼鏡を梱包して眼鏡処理施設に送る。

2. 収集・処理センターでは、上記に加えて以下の業務を提供する：

- レンズ測定計で度数が容易に測定できるよう、眼鏡を洗浄し、水気を取り除く。
- 眼鏡を測定し、その眼鏡を入れるビニール袋に度数を記載する。
- ディ옵ターが4分の1単位で表示された箱にディ옵ター別に眼鏡を詰める。

各ビニール袋に表記する処方度数には以下を含める。

- 右レンズ（常に上方に記載）： 球面 円柱 円柱軸
- 左レンズ（常に下方に記載）： 球面 円柱 円柱軸
- 近用加入度数（遠近両用眼鏡の場合）
- 瞳孔間距離（丸で囲む）

付録「A」および「B」に、単焦点レンズと遠近両用レンズのラベルの見本と記入方法が記載されている。

測定済みの眼鏡は大きさ50.8 x 10.16 x 15.24 cm（20インチ x 4インチ x 6インチ）の箱に入れて保管することが推奨される。この細長い箱には50個の眼鏡を収納でき、眼鏡の保管、配送、配付に便利である。リサイクル眼鏡を入れた箱には、以下の情報を記載したラベルを貼付する。

- 男性用、女性用、または子ども用など、眼鏡の種類
- 単焦点レンズまたは遠近両用レンズ
- 度数の範囲

LERCは、ライオンズであることを示すもの、および/またはライオンズのロゴを、眼鏡を入れたビニール袋、保管箱、配送箱に表示する。これにより、ライオンズ眼鏡リサイクルプログラムであることが明確となり、PRにもなる。

3. 収集・処理・配送センターでは、上記の業務すべてを提供する。また、眼鏡を配布する団体に対して以下の業務も提供する：

- 眼鏡配布その他の医療奉仕事業に参加するライオンズ/レオまたは他の奉仕団体のために眼鏡の収集、処理、配送を行う。
- LERCはライオンズ/レオの眼鏡配布その他の医療奉仕事業のために無料で眼鏡を供給する。LERCはその裁量により、ライオンズ以外の団体から眼鏡配布その他の医療奉仕事業で使用する眼鏡（老眼鏡やサングラスなど、リサイクルおよび/または新品の眼鏡）を求められた場合には、小額の妥当な手数料を徴収することができる。

- 事業のためにリサイクル眼鏡を求めるライオンズ/レオまたは他の団体が以下に同意することを確認する。
 - ✓ 眼鏡の輸送に関する指示を提供する。
 - ✓ 事業チームの責任者の氏名と連絡先を提供する。
 - ✓ 配送費用を負担する（前払い）。
 - ✓ 通関手続きを手配する。
 - ✓ 事業完了後1カ月以内にLERCに報告を行う。
 - ✓ 眼鏡配布にライオンズ/レオが関わったことをPRする。

4. 主要LERC

各複合地区に設置できる主要LERCは一つである。主要LERCは、そのスポンサーである複合地区または単一地区内においてのみ、必要に応じて追加の「支所」を設けることができる。主要LERCは、メンバーとなるライオンズおよび支所が設けられる複合地区または単一地区のライオンズの代表によって構成される組織体制を確立しなければならない。

保険

LERCはその建物および運営に見合った適当な保険に加入する。このような保険は、ライオンズクラブ国際協会より提供される賠償責任保険とは別に加入するものである。LERCは現地の保険代理店に相談の上、LERCの建物および運営のために必要な追加の保険を見極める。

LERCのオリエンテーションおよびトレーニング手順

LERCは、現地の眼科医療専門家や協力関係にある他のパートナーと連携し、現地政府の法規と運営の行われる都道府県や現地管轄当局の専門的基準に適合する十分なオリエンテーションおよびトレーニング・プログラムを設けることとする。最低限の要件としては以下が挙げられる。

1. LERCは、眼鏡リサイクルのプロセスを熟知するとともに、その業務を遂行するボランティアの募集、トレーニング、作業日程の設定に責任を負う。
2. LERCの業務を遂行する者はそれぞれ、基礎的な光学用語を理解しており、かつLERCボランティアとして責任を果たせるようトレーニングを受けた者である。
3. LERCボランティアには、必要に応じてオリエンテーションおよびトレーニングが提供される。その内容には、記録保管、記録、レンズ測定計（自動操作および/または手動操作）の使用、分類、ラベル表示、レンズの処方度数の測定、眼鏡の梱包と発送などが含まれる。

記録保管

1. LERCは以下を含めて、文書および/または電子的手段による記録を3年間保存する。
 - 収集、処理、度数の測定、保管が行われた眼鏡の数と種類。
 - 眼鏡を注文して事業を行った団体の名称。
 - 配布過程で関与したライオンズ/レオ（配布チームへの参加者または受領国のライオンズ/レオ）。
 - 眼鏡配布または医療奉仕事業の期間中に奉仕を受けた人々の数に関する最終報告。
2. LERCは、眼鏡配布事業の期間中に配布されたすべての眼鏡について報告を求め、それを受けなければ、以後の眼鏡配布事業用に眼鏡を供給しない。

報告手順

1. 各LERCは、その現行の運営規約に現役員のリストを添えて、毎年9月15日までにライオンズクラブ国際協会の法律部に提出する。各報告書には理事会会議の議事録も含める。
2. 各LERCは、収集および配布した眼鏡の総数を含むその年次報告書を、毎年9月15日までにライオンズクラブ国際協会に提出する。LERCは、LERC用の国際協会のオンライン報告システムを通して、これらの総数を報告する。ウォルマート・ビジョン・センターでの共同眼鏡収集プログラムを通してウォルマートから眼鏡を受領する米国内のLERCは、ウォルマートから受け取った眼鏡の数を別に入力して報告すべきである。
3. 運営の支援者への透明性を確保するため、LERCは少なくとも年に1度、およびその所在する会則地域の適用法規または設立趣意書に従い、会計監査または財務調査を行うことが奨励される。

ライオンズクラブ国際協会、LERC支所、他のLERCとの情報交換

最善の方法による眼鏡リサイクルを維持するため、すべてのLERCは、ライオンズクラブ国際本部の奉仕事業部および他のLERCのスタッフと定期的に連絡を取り合うことが奨励される。国際協会は年度ごとに、すべてのLERCに対してアンケート調査を行うことを選択し、現行の手順に関する重要な情報を収集するとともに、生じ得る問題を見極めることができる。LERCは、奉仕事業部に連絡して眼鏡リサイクルプログラムに関するアドバイス、資料、最新情報などを求めることが奨励される。すべてのLERCは、上記の「報告手順」に記載の報告書を提出すべきである。

資金援助

1. LERCは、以下の一つ以上の方法により、拡大、設備改善、および/または運営費の資金を確保する。
 - 資金獲得行事
 - LCIFからのマッチング交付金
 - ライオンズ地区および/または都道府県等の財団からの資金援助
 - 地域社会からの寄付
 - 民間または公共の助成金
 - 個々のライオン/レオおよび地元クラブからの寄付で設置された基金
 - 慈善信託、寄付、生命保険からの遺贈
 - 施設の一般公開による募金
 - 資源リサイクルに出す眼鏡からの収益
2. LERC理事会のメンバーまたは指名されたスタッフが、資金獲得のための委員会と取り組みを主導する。

LERC運営組織

1. 各LERC理事会は、ライオンズクラブ国際協会に対してグッドスタンディングのライオンズクラブ会員によって構成される。理事会メンバーの数は最低5人である。理事会メンバーから選出された理事長、副理事長、幹事/会計で構成される執行委員会が、個々のLERCの定款に定める任期を務めることが推奨される。
2. 各理事は、継続性を保つために2年以上の任期を務める。継続性を図るため、任期は交代で満了となるようにすることが推奨される。

LERCスタッフ配置

公認LERCとして認められるためには、LERCはその規模および処理される眼鏡の数に見合った人員配置を詳細に報告しなければならない。LERCのスタッフがライオンズの会員である場合、その会員は所属地区のライオンズクラブにおいてグッドスタンディングであるものとする。主要リサイクルセンターおよび支所にはそれぞれ、下記のスタッフを配置することが推奨される。

1. **最高運営責任者/理事長**：LERC理事会の管理下で運営される個々の主要リサイクルセンターおよび支所に配置する。

2. **センター所長**：センター所長は、主要LERCまたは各支所の日常業務を管理するとともに、コーディネーターおよび最高執行責任者の役割を果たす。その任務と職責の概要はセンターの定款に記載される。
3. **運営責任者**：運営責任者の任務と職責の概要は、センターの定款および運営手順書に記載される。
4. **倉庫管理責任者**：倉庫管理責任者の任務と職責の概要は、センターの定款および運営手順書に記載される。
5. **コーディネーター**：コーディネーターの任務と職責の概要は、センターの定款および運営手順書に記載される。
6. **予備の人材**：LERCは、必要に応じて追加のライオン/レオやボランティアを選任し、トレーニングを受けさせて上記の役職と職責の遂行に当たらせる。

LERCボランティア

各LERCはリサイクル眼鏡の受領、処理、分類、保管を支援する適切な数のボランティアを募り、トレーニングを受けさせる。眼鏡リサイクルに協力するボランティアには、ライオン、レオ、その他の地域住民を含めることができる。センター所長は、LERCの効率的な運営に必要なボランティアの数を決定する。

PRおよび社会の認識向上

1. ライオンズクラブ国際協会は、眼鏡リサイクルのコンセプトと拡大を推進する。
2. ライオンズ眼鏡リサイクルセンターは、ライオンズ/レオの眼鏡リサイクルへの取り組みに対する社会の認識を高めるとともに、このプログラムのPRに利用できる報道価値のある情報を国際協会に提供することが奨励される。
3. ライオンズ眼鏡リサイクルセンターは、眼鏡リサイクルへの参加に関心を持つ他のライオンズ/レオにも情報を提供することが奨励される。
4. LERCは、ライオンズクラブ/レオクラブ、地区、複合地区と協力し、世界視力デー（10月）などの特別なグローバル行事に合わせて、眼鏡収集キャンペーンへの参加を奨励することが推奨される。

LERCの遵守証明

各LERCは上記のガイドラインを熟知して遵守するとともに、下記の文書に署名の上、国際協会に提出することにより、その遵守を証明する。

1. ライオンズクラブ国際協会およびLERC覚書（コード番号：LERC 422）
2. LERC遵守報告用紙（コード番号：LERC 421）

国際協会は、本ガイドラインの遵守をもってLERCを公認ライオンズ眼鏡リサイクルセンターとして認め、PRを行う。また、LERCの運営にライオンズの名称と紋章を使用することを認める取消し可能な許可も、LERCに与える。国際協会の商標の使用は、国際理事会が随時採択する理事会方針に従って行われなければならない。

情報・資料

[法的書類および出版物](#)

[LERC一覧](#)



ライオンズクラブ国際協会

奉仕事業部

300 W 22ND ST

Oak Brook IL 60523-8842 USA

www.lionsclubs.org

Eメール：eyeglasses@lionsclubs.org

電話：630-571-5466

FAX：630-571-1691

LERC 425 3/2017



付録 A

単焦点眼鏡用のラベル記入方法

			LS
R:	+1.25 (SPH)	-0.75 (CYL)	X 106 (AXIS)
L:	+1.75 (SPH)	-1.25 (CYL)	X 109 (AXIS)
PD			

単焦点眼鏡を入れた袋のラベルの見本

ライオンズ眼鏡リサイクルプログラムの全体的な一貫性を確保するため、単焦点眼鏡を入れた袋のラベルには以下の情報を含める必要がある。

1. カテゴリー

(袋にラベルを付ける際には、下記のカテゴリーのみを使用する)
各単焦点眼鏡のカテゴリーを表示する。

LS = 女性用単焦点 MS = 男性用単焦点 CS = 子ども用単焦点

2. 処方度数

右レンズの処方度数 = 常に上方に記載
左レンズの処方度数 = 常に下方に記載
各処方度数には次の3つの情報が含まれていること：球面、円柱、円柱軸

3. 球面 [SPH] (常に最初に数字で記載)

各レンズの球面を適切な個所に記載する。
必ず + (プラス) または - (マイナス) のいずれかを記すこと。

4. 円柱 [CYL] (常に2番目に数字で記載)

各レンズの円柱を適切な個所に記載する。
円柱は常にマイナス (例えば、-2.00)。
レンズに円柱や円柱軸がない場合には、「SPH」を記載する。

5. 円柱軸 (常に3番目に数字で記載)

各レンズの円柱軸を適切な個所に記載する。
円柱軸の数字の前に「X」を記載する。

6. 瞳孔間距離 (PD) 右の瞳孔と左の瞳孔間の距離をミリメートルで表示した数字。レンズを調節する際には、レンズの中心を瞳孔の中心に正確に合わせる事が重要である。



付録 B

遠近両用眼鏡のラベル記入方法

			MB
R:	+1.25 (SPH)	-0.75 (CYL)	X 106 (AXIS)
L:	+1.75 (SPH)	-1.25 (CYL)	X 109 (AXIS)
PD			ADDITIONAL +2.50 [near ADD]

遠近両用眼鏡を入れた袋のラベルの見本

ライオンズ眼鏡リサイクルプログラムの全体的な一貫性を確保するため、遠近両用眼鏡を入れた袋のラベルには以下の情報を含める必要がある。

1. カテゴリー

袋にラベルを付ける際には、下記のカテゴリーのみを使用する。

各遠近両用眼鏡のカテゴリーを表示する。

LB = 女性用遠近両用 MB = 男性用遠近両用

2. 処方度数

右レンズの処方度数 = 常に上方に記載

左レンズの処方度数 = 常に下方に記載

各処方度数には、球面、円柱、円柱軸、近用加入度数が含まれているべきである。

3. 球面 [SPH] (常に最初に数字で記載)

各レンズの球面を適切な個所に記載する。

必ず + (プラス) または - (マイナス) のいずれかを記すこと。

4. 円柱 [CYL] (常に2番目に数字で記載)

各レンズの円柱を適切な個所に記載する。

円柱は常にマイナス (例えば、-2.00)

レンズに円柱や円柱軸がない場合には、「SPH」を記載する。

5. 円柱軸 (常に3番目に数字で記載)

各レンズの円柱軸を適切な個所に記載する。

円柱軸の数字の前に「X」を記載する。

6. 近用加入度数 (常に右下に記載)

各遠近両用眼鏡の近用加入度数を記載する。

近用加入度数 (近用ADD) は、常にマイナス (例えば、-2.50)。

7. 瞳孔間距離 (PD) 右の瞳孔と左の瞳孔間の距離をミリメートルで表示した数字。レンズを調節する際には、レンズの中心を瞳孔の中心に正確に合わせる事が重要である。

